

# 紙の保険証

## さらに負担増

保険証とマイナンバーカードを一体化した「マイナ保険証」が使える医療機関で、従来の紙などの保険証を利用した時の患者負担がさらに増えることになつた。加藤勝信厚生労働相は、来年度の予算編成の折衝で合意した。従来の保険証に比べてより堅牢となるマイナ

保険証に誘導したいと考えた。

現在、マイナ保険証に対応した医療機関で受診する

初診の場合、マイナ保険証を使うと原則「6円」、従来の保険証を使うと「12円」の追加負担が発生する。厚労省は、「（うち従

来の保険証を使った場合の

### 初診・再診の料金を上げマイナ型普及狙う

「コストの違いを反映する」と説明した。来年4月～12月末の特別的な扱いによる。

追加負担を「18円」に引き上げる方針。また、再診時にも、従来の保険証のみ新たに「6円」の負担がかかる方向で調整する。

加藤氏は折衝後の見見で、マイナ保険証の場合は追加負担を引き上げるなど患者の情報をすぐに医療機関が取得できる利便性があり、「（従来の保険

中。10月に従来の保険証の上に加算は今年4月に導入されたが、かえって患者負担が増えることに批判が集まる。」と、窓口負担が3割の人の方に調整する。

（村井隼人）